

インフルエンザ



インフルエンザワクチンについて

インフルエンザは脳症や肺炎をおこしやすく、普通の風邪とは違い高熱を伴って急激に発症し全身症状が強く現れます。

感染予防の為に予防接種が必要で、生後6ヶ月以上で12歳迄では2回ずつ接種します。

小さな子供の場合は一回の接種だけでは十分な免疫ができません。重症化を予防するのに必要な免疫ができるのは2回目を接種して2週間程経ったところからで、ワクチンの効果は5カ月程度です。

症状

高熱(38℃以上)
咳・喉の痛み・鼻水
全身倦怠感、食欲不振
関節痛、筋肉痛、腹痛等



潜伏期間：1～3日

感染期間：発症直前から発病後3日程度迄が特に感染力が強い。

登園可能日：発症後5日かつ解熱後3日経過
(発症日、解熱日は翌日から1日目と数えます)



病後児預かり可能日：登園可能日の前日からです

飛沫感染・・・咳やくしゃみをしたときにウイルスが飛び散り、口や鼻からウイルスが体に入り感染する。⇒人が多く集まる場所など

接触感染・・・感染した人のウイルスが手から周りの物に付着し、ほかの人が触れることで体内に入り感染する。⇒電車やバスのつり革、ドアノブ、スイッチなど

予防

☆マスク(咳、くしゃみ等で、飛ぶつばからウイルスを、鼻腔から吸入する事によって感染します)⇒自分の、目・鼻・口を触るのはやめましょう。

☆石鹸で手洗い・うがい・手指消毒アルコールで消毒。

☆空気が乾燥すると、喉の粘膜の防御機能が低くなる為、加湿器等を使って50～60%の湿度を保つと効果的です。

☆不要不急の外出は避けましょう。

☆密閉・密集・密接を避けましょう。